

様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書																									
令和 7年 6月 18日																									
札幌市長 殿																									
提出者 住 所 札幌市中央区南1条西7丁目16-2 氏 名 岩倉建設株式会社 代表取締役社長 鈴木泰至 電話番号 011-281-6000																									
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。																									
事業場の名称	岩倉建設株式会社（管轄工事現場）																								
事業場の所在地	札幌市中央区南1条西7丁目16-2																								
計画期間	令和7年4月～令和8年3月																								
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																									
① 事業の種類	大分類；建設業 中分類：総合工事業 小分類；一般土木建築工事業																								
② 事業の規模	令和6年度完成工事高 215億円																								
③ 従業員数	264人																								
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>・廃棄物の発生</td><td>⇒ 委託中間処理</td><td>⇒ 再資源化・最終処分</td></tr><tr><td>・建設汚泥</td><td>⇒ 脱水改良等</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr><tr><td>・廃プラスチック類</td><td>⇒ 分別破碎圧縮</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr><tr><td>・がれき類</td><td>⇒ 分別・破碎</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr><tr><td>・ガラス・陶磁器</td><td>⇒ 分別・破碎</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr><tr><td>・木くず・繊維くず</td><td>⇒ 破碎</td><td>⇒ 再資源化</td></tr><tr><td>・石膏ボード</td><td>⇒ 分別・破碎</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr><tr><td>・混合（管理型含む）</td><td>⇒ 分別・破碎</td><td>⇒ 再資源化・埋立</td></tr></table>	・廃棄物の発生	⇒ 委託中間処理	⇒ 再資源化・最終処分	・建設汚泥	⇒ 脱水改良等	⇒ 再資源化・埋立	・廃プラスチック類	⇒ 分別破碎圧縮	⇒ 再資源化・埋立	・がれき類	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立	・ガラス・陶磁器	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立	・木くず・繊維くず	⇒ 破碎	⇒ 再資源化	・石膏ボード	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立	・混合（管理型含む）	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立
・廃棄物の発生	⇒ 委託中間処理	⇒ 再資源化・最終処分																							
・建設汚泥	⇒ 脱水改良等	⇒ 再資源化・埋立																							
・廃プラスチック類	⇒ 分別破碎圧縮	⇒ 再資源化・埋立																							
・がれき類	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立																							
・ガラス・陶磁器	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立																							
・木くず・繊維くず	⇒ 破碎	⇒ 再資源化																							
・石膏ボード	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立																							
・混合（管理型含む）	⇒ 分別・破碎	⇒ 再資源化・埋立																							

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>(管理体制図)</p> <pre> graph TD A[本社] --> B[本社土木部・建築部] A --> C[本店土木部・建築部] B --> D[工事事務所] C --> E[工事事務所] </pre> </div> <div style="text-align: right;"> <p>責任者：土木・建築総括役員</p> <p>責任者：土木・建築部長</p> <p>責任者：工事事務所長</p> </div> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	12種類（別紙1）	
	排 出 量	1, 944. 2 t	t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>別紙1（Ⅰ-①）のとおり</p>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	12種類（別紙1）	
	排 出 量	1, 245. 0 t	t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>別紙1（Ⅰ-②）のとおり</p>		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>別紙1（Ⅱ-①）のとおり</p>		
②計画	<p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>別紙1（Ⅱ-①）のとおり</p>		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙1（Ⅲ-①）のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙1（Ⅲ-①）のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理は行う予定はない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入は行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	12種類（別紙1）	
	全 処 理 委 託 量	1,944.2 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	843.9 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1,811.5 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙1（IV-①）のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	12種類（別紙1）	
	全 処 理 委 託 量	1, 245. 0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	740. 0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 195. 0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙1（Ⅳ-②） のとおり		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

記入項目 \ 廃棄物名称			がれき類	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	廃プラスチック類	金属くず
I	①	排出量	291.6	45.9	196.1	151.6
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底している。			
	②	排出量	200	40	150	120
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底する。			
II	①	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組んでいる。			
	②	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組む。			
III	①	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・一部の工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用している。			
	②	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・可能な限り工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用する。			
IV	①	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
V	①	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
VI	①	全処理委託量	291.6	45.9	196.1	151.6
		優良認定処理業者	187.4	16.4	169.6	151.6
		再生利用業者	236.0	0	196.1	151.6
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り再生利用業者と契約している。			
	②	全処理委託量	200	40	150	120
		優良認定処理業者	150	20	120	120
		再生利用業者	200	5	150	120
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者及び認定熱回収業者と契約する。			

記入項目 \ 廃棄物名称			その他安定型 混合物等	建設汚泥	紙くず	木くず
I	①	排出量	1.9	927.6	72.4	157.5
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底している。			
	②	排出量	0	500	50	120
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底する。			
II	①	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組んでいる。			
	②	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組む。			
III	①	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・一部の工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用している。			
	②	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・可能な限り工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用する。			
IV	①	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
V	①	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
VI	①	全処理委託量	1.9	927.6	72.4	157.5
		優良認定処理業者	1.4	0	72.4	152.0
		再生利用業者	1.9	927.6	72.4	157.5
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り再生利用業者と契約している。			
	②	全処理委託量	0	500	50	120
		優良認定処理業者	0	100	50	120
		再生利用業者	0	500	50	120
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者及び認定熱回収業者と契約する。			

記入項目 \ 廃棄物名称			廃石膏ボード	その他管理型 混合物等	その他 廃棄物	石綿含有
I	①	排出量	53.1	34.9	11.1	0.5
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底している。			
	②	排出量	40	20	5	0
		取組	・余材や端材の発生を抑制するため、資材の発注管理を徹底する。			
II	①	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組んでいる。			
	②	取組	・可能な限り廃棄物の種別毎に専用かごを設置して分別廃棄に取組む。			
III	①	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・一部の工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用している。			
	②	再生利用量	—	—	—	—
		取組	・可能な限り工事現場において、がれき類を工事用道路等に使用する。			
IV	①	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	熱回収量	—	—	—	—
		中間処理量	—	—	—	—
		取組	—			
V	①	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
	②	埋立処分量	—	—	—	—
		取組	—			
VI	①	全処理委託量	53.1	34.9	11.1	0.5
		優良認定処理業者	49.2	34.9	9	0
		再生利用業者	37.5	30.9	0	0
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り再生利用業者と契約している。			
	②	全処理委託量	40	20	5	0
		優良認定処理業者	40	20	0	0
		再生利用業者	30	20	0	0
		認定熱回収業者	—	—	—	—
		認定熱回収業者以外	—	—	—	—
		取組	・委託業者の処理方法を確認し、可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者及び認定熱回収業者と契約する。			

2024年度 札幌市産業廃棄物一覧・2025年度 目標

No.	廃棄物の種類	前年度の産業 廃棄物発生量 (単位：t)	本年度の目標							
			①産業廃棄物 発生量	②自己直接再 生利用量	③自己直接埋 立処分又は海 洋投入量	④自己中間処 理量	⑤自己中間処 理残さ量	⑥自己中間処 理後再生利用 量	⑦自己中間処 理後自己埋立 処分又は海洋 投入量	⑧直接委託及 び自己処理後 委託処分量
1	がれき類	291.6	200							200
2	ガラス・陶磁器類	45.9	40							40
3	廃プラスチック類	196.1	150							150
4	金属くず	151.6	120							120
5	その他安定型物（混合 物等）	1.9	0							0
6	建設汚泥	927.6	500							500
7	紙くず	72.4	50							50
8	木くず	157.5	120							120
9	廃石膏ボード	53.1	40							40
10	その他管理型物（混合 物等）	34.9	20							20
11	その他廃棄物	11.1	5							5
12	石綿含有	0.5	0							0
	合計	1,944.2	1,245							1,245